

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201044

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載  後期計画において計画に基づく改修施工を記載する
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	C	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	各学校給排水改修事業	見直し年度		
事業期間	平成22年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	学校施設の適切な維持・管理	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
事業目標	6校	関係例規・法令名		
住民参加	2	関係個別計画名		
住民協働				

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	各学校の給排水管の状況確認と腐食配管の改修			・各学校の給排水管の状況確認	・各学校の給排水管の状況確認	・改修計画の作成
計 画 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				0
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)  【評価・実績】	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等) 各校の状況調査実施  ※前年度評価結果	(実施内容等) 各校の状況調査実施  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 各校の状況調査実施  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値		6校	6校	6校
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	各学校給排水改修事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	学校施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	状況確認把握小中学校数								
【抱える課題やニーズは】	各学校とも年数の経過により給排水管の腐食が進んでいることから、全面的な改修を要する時期となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漏水等、リスクの少ない給排水環境の改善を図る。	① 小中学校数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6校</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6校</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	6校	実績値	6校	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	6校										
実績値	6校										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	今後も継続して施設を活用できるように設備の延命化を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	各校の状況確認を行った結果、当面の給排水の改修は必要なかったことから、改修計画については策定していません。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町内学校施設の延命化に伴う改修工事についての前段の調査であり、施設設置者である町が担うものであると判断します。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町内各学校における現況及び改修を要する時期等が把握されています。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	ゼロ予算事業であり、予算支出は伴わないものであります。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

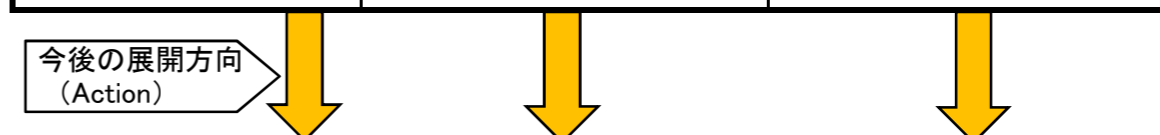
公平	判断の理由	全学校を等しく調査しており、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町内各学校の現況及び改修を要する時期等を把握できたことから、計画どおり事業が進んでいます。		



終了		
当面の給排水改修の必要がないことを確認しましたので終了とするものであります。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止